

東京経済大学（2011年度）
G（社会調査実習）科目説明書

授業科目名	社会調査実習		
題 目			
開設学部・学科	コミュニケーション学部 コミュニケーション学科	授業時間数	90分 × 30週
履修基準年度(学年)	2, 3, 4年	科目認定番号	TKZa-100701-0
担当教員 所属・職・氏名	所属	職	氏 名
	コミュニケーション学部	教授	(ふりがな) やまだ はるみち 山田 晴通

授業の目的と概要

社会調査士資格の関連科目の勉強の集大成として、調査の企画から報告書の作成まで、社会調査の一連の過程における実践知識とスキルを学ぶ。調査法としては、質問紙調査とインタビューを中心とした質的調査を取りあげる。授業時間以外にも、多くの共同学習と作業を要するが、その分、達成感も大きいので、積極的に取り組んでほしい。

授業の構成・内容とスケジュール・進め方

1 ガイダンス、2 研究テーマ設定と班構成、3 調査テーマの設定、4 先行研究・調査の検索、5 研究テーマの発表、6 仮説の検討、7 調査計画書の作成、8 予備調査・調査票の設計、9 予備調査の実施、10 予備調査結果の分析、11 調査票・調査計画の再検討、12 質問紙調査対象者の検討、13 実査スケジュールの検討、14 実査、15 回収・点検、16 データ処理、17 データの分析、18 インタビュー調査の設計、19 インタビュー調査対象者の検討、20 実査スケジュールの検討、21 実査中間報告(1)、22 実査中間報告(2)、23 実査中間報告(3)、24 報告原稿の構成、25 報告原稿の作成(1)、26 報告原稿の作成(2)、27 報告書の作成、28 発表の練習、29 公開発表会、30 総括

調査プラン（調査の企画・設計案）

1. **調査のテーマ／領域**：国分寺市ないし近傍地域における地域住民の生活行動（衣食住、情報コミュニケーション行動）から選ぶ。なお受講者の関心によっては、新たな共通テーマを設定する場合もある。
2. **調査の内容／概要**：地域住民にとっての社会生活上の課題を発見し、生活行動についてさまざまな側面から明らかにする。その方法として、質問紙調査と、インタビュー調査を中心として質的調査の技法を用いる。
3. **調査の範囲／対象**：調査対象者は、国分寺市ないし近傍地域における地域住民とする。
4. **主な調査項目**：日常生活（衣食住）や、身近な地域社会の関係において、地域住民にとって問題と感じられている内容の中から、受講者の関心に合わせて設定する。
5. **データ収集（現地調査）の方法**：日常の生活行動、社会活動に関する質問紙調査、インタビュー、観察法。
6. **調査の実施時期・調査地・調査員の数**：質問紙調査は7月から8月、国分寺市ないし近傍地域の町会規模の範囲を受講者の関心に合わせて設定する、数名。インタビュー調査は、10月から11月、質問紙調査と同じ地域、数名。
7. **調査における学生のかかわり／役割**：対象者の選定、調査票・調査計画の作成、調査・インタビューの実施、データ集計・分析、報告書の執筆
8. **その他の特記事項**：

認定機構使用欄

受付	入力		備考
----	----	--	----